※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０２

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA１」　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４分野について年間を通して学習します。
・学習の到達度は、学習の取り組み状況・授業で配布するワークシート・実技テスト・創作作品で評価します。
・音楽の学習は、仲間と共に様々な音楽経験をすることで価値あるものとなり、感性が豊かになります。
・音楽が、生涯みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願い、音楽の幅を広げて楽しむことができるようにしていきたいと考えています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	【歌唱】 ・校歌 ・翼を下さい ・カロ・ミオ・ベン　他	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、姿勢や呼吸などの身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:親しみやすい歌や校歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:旋律と歌詞のもつ言葉の抑揚との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りレポート	演奏の聴取 観察
	世界の諸民族の音楽	【鑑賞】 ・声による表現 ・アリラン ・オルティンドー　他	a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:　音色・旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:世界の様々な音楽に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	振り返りレポート	観察

※令和４年度以降入学生用

1	ギターを演奏しよう1	【器楽】 ・ギターの奏法 ・音階 ・木星　他	a:【知】楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】ギターの奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色・旋律・リズムを知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取 観察	演奏の聴取 観察
2	表現を工夫して合唱をしよう	【歌唱】 合唱「ぼくはぼく」 他	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:ハーモニーを奏でることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りレポート	演奏の聴取 観察

※令和４年度以降入学生用

2	ギターを弾こう2	【器楽】 ギター弾き語り 「糸」 他	a:【知】楽器の音色や奏法との関わりや、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】ギターの奏法、身体の使い方、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色・リズム・テクスチュアを知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 観察
	ヴァイオリンを演奏しよう	【器楽】 きらきら星 カノン　他	a:【知】楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】ヴァイオリンの奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色・旋律・リズム・強弱を知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 観察

※令和４年度以降入学生用

2	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 b: 音色・速度・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:音楽をあらゆる視点から鑑賞することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	振り返りレポート	観察
3	ギターを弾こう3	【器楽】 ギターアンサンブル 「第三の男のテーマ」	a:【知】楽器の音色や奏法との関わりや、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】ギターの奏法、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:旋律・音色・リズム・テクスチュアを知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	ワークシート 発表 振り返りレポート 観察	発表 観察

※令和４年度以降入学生用

3	和楽器に親しみ演奏に挑戦しよう	【器楽】 和太鼓 「龍神太鼓」 他	a:【知】楽器の音色や奏法との関わりや、文化的・歴史的背景との関わりついて理解している。 【技】和太鼓の奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している b:音色・リズムを知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:和楽器の音色や奏法について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 観察
	「ヨード進行」をもとにメロディをつくろう	【創作】 オリジナル楽曲をつくろう	a:【知】音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能や、反復の手法を活用して音楽を作る技能を身に付けている。 b:旋律・リズム・テクスチュア・構成を知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように創作表現するかについて表現意図をもっている。 c:音楽をつくり上げていくことについて関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品提出	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 振り返りレポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度